

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●菅原明良騎手がJRA通算100勝を達成

7月17日(土)の1回福島5日・第5レースではセプテンベルが1着となり、同馬に騎乗した菅原明良騎手(美浦・高木登厩舎)は、現役97人目となるJRA通算100勝(1557戦目)を達成しました。

●夏の福島リーディングジョッキーは戸崎圭太騎手

7月18日(日)をもって1回福島競馬が終了し、9勝をあげた戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●ジョッキーベイビーズの東海地区代表が決定

7月18日(日)、第12回ジョッキーベイビーズ地区代表決定戦・選考会として「東海地区代表決定戦 IN 中京競馬場」が開催されました。中京競馬場のダート直線300mで5頭立ての決勝レースが行われ、吉田花凜さん(中学1年生・水口乗馬クラブ)が優勝、東海地区の代表に決定しています。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2021年1月1日から7月4日までに実施された世界の主要レースが対象で、エクリプスSを3馬身半差で勝ったセントマークスバシリカが前回第12位タイから今回トップ(127)へとジャンプアップ。日本馬では、ヴィクトリアマイル勝ち馬グランアレグリアが第9位タイ(121)にランクインし、これは牝馬としてはトップとなっています。また宝塚記念連覇のクロノジェネシス、皐月賞馬エフフォーリアと日本ダービー馬シャフリヤール、クイーンエリザベスⅡ世C2着のグローリーヴェイズが第15位タイ(120)に入りました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マスターフェンサーがマーキュリーC(盛岡)連覇を達成

マーキュリーC(JpnⅢ、7月20日、盛岡、2000m)は、2番手を進んだ4番人気のマスターフェンサー(松山弘平騎手、牡5歳、父ジャスタウェイ)が3、4コーナー中間で抜け出し、1番人気のバンクオブクラウドに2馬身差を付けてこのレース連覇を達成。2番人気のヒストリーメイカーが更に10馬身遅れの3着、3番人気のデルマルヴェルが4着、ラストマンが5着と、5頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●函館2歳Sに挑んだ北海道のラブミードールは11着

函館2歳S(GⅢ、7月17日、函館)にJRA認定馬(上級認定競走1着馬)の資格で出走した北海道所属馬ラブミードールは、6番手前後を追走も4コーナーで外に逃避して失速し、最下位の11着に終わっています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが佐賀で開幕

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは7月20日に佐賀で開幕し、第1戦は飛田愛斗騎手(佐賀)、第2戦は西谷凜騎手(栗東)が優勝しました。

●やまびこ賞は牝馬ゴールデンヒーラー【各地の主要3歳重賞】

やまびこ賞(7月13日、盛岡、1800m)は、2番手から4コーナーで先頭に立ったゴールデンヒーラー(牝、父タートルボウル)が3馬身差で完勝、1番人気に応じて4度目の重賞制覇を果たしました。
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1パリ大賞〜ハリケーンレーンがG1連勝

7月14日にフランスのバリロンシャン競馬場で行われたG1パリ大賞(3歳牡牝、芝2400m)はW.ビュイック騎手を背に先行したハリケーンレーン(牡、父フランケル、英C.アップルビー厩舎)が6馬身差で快勝しました。ハリケーンレーンはG1英ダービー3着の後、前走6月26日のG1愛ダービー(芝2400m)をクビ差で制してG1初制覇。レース後の状態が良かったことから追加登録してここに臨んでいました。

●G1愛オークス〜ディーブインパクト産駒スノーフォールが圧勝

アイルランドのカラ競馬場で7月17日に行われたG1愛オークス(3歳牝、芝2410m)はR.ムーア騎手とのコンビで、中団でレースを進めたスノーフォール(A.オプライエン厩舎)が直線で楽々と差を広げて8馬身半差で圧勝しました。スノーフォールは父がディーブインパクト、母が愛G3ギブサンクスS優勝のベストインザワールド、伯母がG1凱旋門賞の勝ち馬ファウンドという血統の日本産馬。今年初戦となった5月の愛G3ミュージドラS(芝2050m)を3馬身差で優勝して重賞初制覇を果たすと、続く前走6月のG1英オークス(芝2410m)はレース史上最大着差となる16馬身差で大勝していました。英オークスと愛オークスのダブル制覇は2017年のエネイブル以来となる15頭目です。